



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月4日

上場会社名 日鉄住金物産株式会社
 コード番号 9810 URL <https://www.nssb.nssmc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐伯 康光
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 多田 昌功
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5412-5003

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	1,902,468	24.6	27,019	16.4	27,445	5.1	18,934	8.3
30年3月期第3四半期	1,526,811	15.9	23,214	10.5	26,118	22.4	17,477	25.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 16,215百万円 (△31.9%) 30年3月期第3四半期 23,810百万円 (135.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	586.93	—
30年3月期第3四半期	565.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	985,904	245,437	23.1
30年3月期	776,395	227,968	27.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 227,263百万円 30年3月期 210,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	90.00	—	120.00	210.00
31年3月期	—	110.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	110.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500,000	21.2	38,000	17.6	38,000	8.0	23,500	8.2	728.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	32,307,800 株	30年3月期	30,957,800 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	48,416 株	30年3月期	47,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	32,259,741 株	30年3月期3Q	30,911,499 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、TDnetで平成31年2月4日に開示し、同日、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、全体として緩やかな回復基調を維持しました。米国景気は安定した雇用情勢や底堅い個人消費により支えられ堅調に推移する一方で、中国では米国との通商問題の影響等により消費や生産において減速傾向が見られることに加え、世界的な株式相場の下落等、先行きは不透明感が増しております。

日本経済は個人消費の持ち直しや、雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復基調を維持しました。

このような経営環境のもと、当社グループの連結業績につきましては、売上高は3,756億円、24.6%増収となる1兆9,024億円となりました。営業利益は38億円、16.4%増益となる270億円、経常利益は13億円、5.1%増益となる274億円となりました。特別利益26億円、特別損失41億円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億円、8.3%増益となる189億円となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼事業におきましては、鋼材需要は内外とも概ね堅調に推移しました。当社の販売数量は、三井物産株式会社グループの鉄鋼事業の一部譲受けもあり、前年同期と比較し国内、輸出とも増加しました。販売価格については、前年同期と比較し国内、輸出とも上昇しました。これらにより売上高は3,711億円、30.0%増収となる1兆6,097億円となり、経常利益は14億円、7.2%増益となる208億円となりました。

(産機・インフラ)

産機・インフラ事業におきましては、売上高は30億円、4.6%増収となる698億円となりました。経常利益はタイの持分法適用会社において前年同期に計上した企業結合等による一過性の利益剥落などにより、7億円、24.4%減益となる22億円となりました。

(繊維)

繊維事業におきましては、売上高は6億円、0.6%減収となる1,115億円となりましたが、経常利益は5億円、32.5%増益となる22億円となりました。

(食糧)

食糧事業におきましては、売上高は21億円、2.0%増収となる1,102億円、経常利益は2億円、11.2%増益となる21億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売上規模拡大に伴う売上債権等の増加があり、前期末比2,095億円の増加となる9,859億円となりました。

負債合計は、売上規模拡大に伴う、仕入債務や有利子負債の増加があり、前期末比1,920億円の増加となる7,404億円となりました。

純資産合計は、配当金支払があったものの、第三者割当増資による資本金及び資本剰余金の増加と当第3四半期連結累計期間での親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前期末比174億円の増加となる2,454億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本は2,272億円、自己資本比率は、23.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年5月10日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,554	28,477
受取手形及び売掛金	471,777	649,057
たな卸資産	111,179	129,613
その他	17,489	34,118
貸倒引当金	△1,323	△2,051
流動資産合計	627,677	839,215
固定資産		
有形固定資産	55,031	56,836
無形固定資産		
のれん	51	11
その他	708	707
無形固定資産合計	760	719
投資その他の資産		
その他	96,062	91,684
貸倒引当金	△3,136	△2,550
投資その他の資産合計	92,926	89,133
固定資産合計	148,717	146,689
資産合計	776,395	985,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,614	322,554
短期借入金	132,084	148,172
コマーシャル・ペーパー	20,000	70,000
未払法人税等	6,075	2,956
引当金	4,485	2,996
その他	29,049	41,409
流動負債合計	441,308	588,089
固定負債		
社債	30,000	60,000
長期借入金	65,538	81,414
引当金	523	572
退職給付に係る負債	2,107	3,541
その他	8,949	6,849
固定負債合計	107,118	152,377
負債合計	548,426	740,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,335	16,389
資本剰余金	50,751	54,806
利益剰余金	131,006	142,866
自己株式	△140	△145
株主資本合計	193,953	213,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,581	8,767
繰延ヘッジ損益	△502	△590
為替換算調整勘定	5,190	4,769
退職給付に係る調整累計額	452	400
その他の包括利益累計額合計	16,722	13,346
非支配株主持分	17,293	18,174
純資産合計	227,968	245,437
負債純資産合計	776,395	985,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	1,526,811	1,902,468
売上原価	1,429,967	1,791,911
売上総利益	96,844	110,557
販売費及び一般管理費	73,629	83,537
営業利益	23,214	27,019
営業外収益		
受取利息	290	342
受取配当金	1,073	963
持分法による投資利益	2,678	1,844
仕入割引	416	391
その他	1,316	1,297
営業外収益合計	5,775	4,839
営業外費用		
支払利息	2,375	3,284
その他	495	1,128
営業外費用合計	2,871	4,413
経常利益	26,118	27,445
特別利益		
固定資産売却益	170	—
投資有価証券売却益	116	638
負ののれん発生益	—	2,050
特別利益合計	287	2,688
特別損失		
固定資産売却損	—	55
減損損失	0	—
投資有価証券売却損	19	—
投資有価証券評価損	392	3,403
出資金評価損	—	329
関係会社整理損	—	409
特別損失合計	412	4,198
税金等調整前四半期純利益	25,994	25,935
法人税等	7,695	6,353
四半期純利益	18,298	19,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	820	648
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,477	18,934

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	18,298	19,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,840	△2,838
繰延ヘッジ損益	38	△89
為替換算調整勘定	△312	△392
退職給付に係る調整額	60	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	886	6
その他の包括利益合計	5,512	△3,366
四半期包括利益	23,810	16,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,194	15,559
非支配株主に係る四半期包括利益	616	656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月2日付で、三井物産株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ4,054百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が16,389百万円、資本剰余金が54,806百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,238,613	66,744	112,164	108,148	1,525,670	1,140	1,526,811	—	1,526,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	659	758	3	—	1,421	158	1,580	△1,580	—
計	1,239,273	67,502	112,168	108,148	1,527,092	1,299	1,528,391	△1,580	1,526,811
セグメント利益 (経常利益)	19,418	2,999	1,727	1,906	26,052	66	26,118	△0	26,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去△0百万円であります。

3. 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益の合計は、調整額△0百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼	産機・ インフラ	繊維	食糧	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,609,756	69,801	111,505	110,289	1,901,352	1,116	1,902,468	—	1,902,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	573	616	5	—	1,195	120	1,315	△1,315	—
計	1,610,329	70,417	111,510	110,289	1,902,547	1,236	1,903,784	△1,315	1,902,468
セグメント利益 又は損失(△) (経常利益又は経常損失)	20,820	2,266	2,289	2,119	27,496	△49	27,446	△1	27,445

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業他を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去△1百万円であります。

3. 「報告セグメント」及び「その他」のセグメント利益又は損失(△)の合計は、調整額△1百万円を除き、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。